

平成28年度第3回利根町地域自立支援協議会 議事録

日時：平成29年3月1日（水）13時～

場所：利根町役場 5-A会議室

出席委員：11名

協議内容

1. 各部会の活動報告

(1) 相談支援部会の活動報告

(部会長) 9月に竜ヶ崎保健所管内意見交換会に参加して以来、特に活動は行っていない。竜ヶ崎保健所管内意見交換会が、再度3月末に開催されるので、そちらに部会のメンバーで参加する予定。今回は就労支援をテーマに意見交換を行うこととなっている。

(2) 防災部会の活動報告

(部会長) 車椅子利用者を支援する際のポイントについて、広報とね3月号へ掲載を行った。

現在は、広報とね5月号への掲載に向けて、記事の作成を行っている。今回は発達障害のある方を支援する際のポイントについて取り上げる。すでに福祉課を通じて広報担当者へ記事案を提出しているが、広報担当者からは、もう少し内容の専門性を高めることや、レイアウトの工夫があるといいとの指摘を受けている。デザインのできる関係者がいるので、その方に助言等をもらいながら、再度、案の練り直しを行う。

2. ヘルプカードについて

今年度福祉課で作成していたヘルプカードについて、完成したものを公表する。前回、利根町で県に先駆けて導入する旨お知らせしていたが、2月に開催した、近隣市町村の担当者による情報交換会の中で、龍ヶ崎市さんや取手市さんも、配布に向けて準備をされているとのお話があった。近隣市町村と同時期に導入できることは、啓発広報に際しても好機であると思われる。

29年4月より、福祉課窓口で配布を開始し、対象者については、障害者手帳の有無によらず、必要な人や欲しいという人には誰にでも配布する予定。また、町ホームページ上でのダウンロードにも対応できるようにしたいと考えている。

カードの素材は上質紙で、ケースについては、重要な個人情報が含まれるという特性上、強度が保障されていないケースを安易に配布するよりも、携帯する人

に、任意のケースをそれぞれ自分で用意してもらうこととする。

配布や広報，啓発に当たっては，自立支援協議会委員の皆様にも何かと協力していただく場面があるかと思うが，よろしくお願ひしたい。

3. 発達障害のある方への支援について

今回の協議会で情報共有等を行う予定であったが，関係機関所属の委員の出席が少ないため，次回の協議会で改めて取り上げることとする。

4. その他

- ・「あさひ」利用者のために，活動を末永く継続する人材の発掘と育成について

（委員）地域活動支援センターⅢ型の「あさひ」について，支援者（ボランティア）の高齢化が進み，今後の活動の存続に不安がある。

障害福祉サービス事業所等が充実してきていることで，「あさひ」に対するニーズも減ってきているのかと思うが，現時点で，「あさひ」を拠り所としている利用者があることや，地元でも数少ない障害者支援関連の事業所であることから，是非活動を存続させたいと考えている。

今後も精力的に活動できるよう，若いボランティアの発掘ができないか検討したい。

（協議内容の要旨）

若い世代の人たちにもそれぞれの生活があり，地域でボランティアをする余力がある人ばかりではないのではないか。そもそも，「あさひ」の存在自体を知らない人も多いのではないかとの意見が出される。

その一方で，退職者等の有志が中心となって，ボランティア活動や，地域を活性化させるための活動をしている例がいくつか取り上げられ，今回の「あさひ」の問題に無関心ではない層もいるはずであり，今後の広報の仕方によっては，人材の発掘はまだ可能なのではないかとの意見が出された。

社協が実施している，リスタート講座やボランティア育成関連の講座の受講者に対して，「あさひ」の活動内容をアナウンスしたり，自立支援協議会の協議会委員も，それぞれが所属する分野で，「あさひ」を含めた利根町の関係団体のことを広報していく必要があるのではないかとの協議がなされた。

- ・身体障害者福祉協議会解散について

（委員）前回の協議会でも話題にした，利根町身体障害者福祉協議会について，正式に解散となったので報告する。

これまでこの会が担ってきた、障害者が集う場所を作る役割を、今後は行政で補足してもらいたい。

(事務局) この場では、明確に何が出来るかお答えすることは難しいが、障害者の方が交流できる機会をつくることは必要であると考えている。

来年度は、障害福祉計画策定のためにアンケート調査を行う予定もあるため、調査結果等も利用しながら、住民ニーズの把握に努め、各機関と協力、連携しながら、事業展開を検討していきたいと考えている。

○次回の協議事項

- ・各部会の活動報告
- ・発達障害児とその保護者に対する支援について